

# 第31回

# 藤里町交通安全町民大会

10月27日、総合開発センターにおいて、第31回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全功労者や交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、交通安全運動への取り組みや意識を高め、町民一丸となって事故防止運動を積極的に展開することなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれているもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、各地区の交通安全推進員や関係者など、100名余が参加しました。

初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて佐々木町長よりあいさつが述べられたあと、古川教育長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。その後、作文の部で優秀賞を受賞した中学生1名、児童1名が作文の朗読をしました。

そして、最後に藤里町交通安全母の会会長の市川富士美さん(愛宕第二)が大い宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

## 交通安全作品コンクール

### 【作文の部】

#### 《優秀賞》

◇七尾春陽さん(藤里中学校1年)  
「安全」について考える

◇浅利一颯さん(藤里小学校1年)  
「たいせつないのち」

### 【ポスターの部】

#### 《最優秀賞》

◇安部陽菜さん(藤里小学校6年)  
「酒にはぜつたい飲まれるな」

#### 《優秀賞》

◇菊池愛奈さん(藤里小学校1年)  
「どうろで あそばないでね」

◇佐々木理夏さん(藤里小学校6年)  
「自転車に乗るときは、「ヘルメット」をつけよう」

### 《入選》

◇菊地凜さん(藤里小学校2年)  
「とび出し きけん」

◇細田未来さん(藤里小学校2年)  
「よく見て わたろう」

◇藤田菜央さん(藤里小学校3年)  
「シートベルトはかならずつけよう」

◇村岡知慧さん(藤里小学校4年)  
「いねむり運転ぜつたいやめよう」

◇赤石龍星さん(藤里小学校5年)  
「飲酒運転しないで」

## 作品紹介

### 『「安全」について考える』



七尾春陽さん

自転車は、私たちの生活に欠かせないものです。でも、運転手の不注意で大事故につながることもあります。私がニュースを見ていて気になるのが、ブレーキとアクセルをふみ間違えて建物に突っ込んだり、集団登校をしている小学生の列に車が突っ込んでいくということでも悲しい事故です。安全のために集団で登校しているはずなのに、運転手の不注意のせいで被害にあった子供たちは、どんなに怖くて痛かったことでしょう。このような事故はもう二度と起きてほしくありません。

私は小学校高学年の時に、集団登校していました。信号のない交差点では、全員が渡りきれず、残った低学年の子が心配になりハラハラしたことが何度もありました。

そんな時、交通指導隊の皆さんが誘導してくれると、とても安心して登校することができました。中学生になってからは、一本道で学校に着きますが、左右確認をしないで走ってくる車がとても多いと思いました。つい最近のことですが、私が乗っていた車にも、こつちを見ないで走ってきた車がぶつかりそうになりました。急ブレーキをかけて寸前で止まり無事でしたが、私は心臓が止まりそうほど怖い思いをしたのに、相手の運転手の悪いと思っていない態度に、ものすごく腹が立ちました。こうして車の事故は起こるんだなと実感しました。

数年前の冬の朝、私の母は実際に事故を経験しました。トラックが後ろからつつこんできたのです。原因は分かりませんが、運転手が前をよく見ていなかったせいではないかと思います。けがも治って、車も新しくしましたが、その場所を通るのが嫌でずっと避けていたそうです。数年経った今でも恐怖心は残っていて、信号で止まっている時でも、後ろの車が気になって、ついバックミラーを見てしまうそうです。事故とは人の体を傷つけて、人の心も傷つけてしまう恐ろしいことなのだ、改めて思いました。

私は、なぜこんなにも事故が多いのかと疑問に思いました。事故の原因としては、スピードの出しすぎ、左右確認をしない、脇見運転や携帯電話をかけているなど、前方不注意が一番多いのではないかと思います。そのため前にいる車や人に気づくのが遅くなり、焦ってアクセルとブレーキをふみ間違えてしまうのではないのでしょうか。車はとても便利ですが、とても危険な乗り物だと思います。一人一人が安全を思う心が必要だと思います。

五年後、私も自動車の免許を取りたいと